

## 本日の全校集会での講話について

年度前期の締めくくりにあたり、全校集会を実施しました。通知表「そだち」を渡す日であり、通知表の意義を伝えようと、以下の文章を子どもたちに話しました。

福田小の児童の皆さんこんにちは。最近は朝晩がだいぶ涼しくなりました。熱中症の危険は低くなりましたが、今度は気温差で体調を崩しやすくなります。気を付けて生活してください。

今日は9月30日、つまり令和7年度のちょうど半分が終わったことになります。その区切りの日に、これまでの学習や生活についてのお知らせとして通知表「そだち」を皆さんに渡します。通知表を開く時は、人によって違うものの多かれ少なかれドキドキワクワクするでしょうね。そんな皆さんに、「通知表は『未来の自分へのヒント』」（※繰り返す）というテーマで3点お話しします。

通知表は、皆さんが進級入学した4月から今月までで、学校でどんなことに挑戦し、どんな力を伸ばしたのかなどを、先生方が丁寧に記録したデータでつくっています。これは、先生方からの、皆さん一人ひとりへの大切なメッセージです。

ところで、皆さんは、この通知表を「4月から9月までの成績表」としてだけ見ていませんか？もちろん、頑張りが認められたところや、○、◎のところは、「よかった!」と喜んでほしいです。

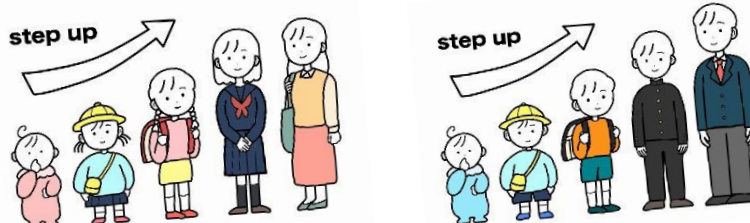
けれども、通知表の一番大切な役割は、そこではありません。



### 一番大切なのは「これから」のこと

通知表の一番大切なところは、実は、皆さんが「これから」どう成長していくか、そのためのヒントがたくさん詰まっていることです。例えば、「もう少し」という部分があったとします。それは、「あなたはこれが苦手だ」という意味ではありません。「あなたは、この部分を頑張って伸ばす力を持っているよ。そうすれば、もっともっと輝けるよ、夢や願いが叶えられるよ」という、未来へのエール、励ましなのです。

この通知表は、「過去の自分」を振り返るだけでなく、「未来の自分」が夢や願いを叶えるための行き先を示す地図や設計図だと考えてください。



### 通知表を生かす3つのステップ

皆さんには、通知表を受け取った後、ぜひこれから話す3つのステップで使ってほしいと思います。

1. まずは「頑張ったところ」をしっかり見つめる! 「できた」「よくできた」と書かれているところを指さして、ここまでの自分を認めてください。それが、これからへの自信につながります。

2. 次に「もっと頑張りたいところ」をじっくり見つめる! です。先生からのメッセージや評価を見て、「次はこれをやってみよう」という具体的な目標を一つだけ決めてください。あれもこれもと欲張らなくて大丈夫

夫です。

3.そして「決めたこと」をすぐに始める!です。今日から、その目標を意識して生活してみてください。例えば、「発表を頑張る」と決めたら、さっそく明日の1時間目の授業で先生の質問を聞き逃さずに理解して、毎回手を挙げてみましょう。「授業の内容を忘れないようにする」と決めたら、さっそく今日の家庭学習でどんな授業だったかを思い出しながらノートに書き留めていく復習をしてください。

#### 最後に

通知表は、先生方から送る皆さんへの「夢や願いを叶える未来へのヒント」です。嬉しかったことだけでなく、悔しかったこと、反省点も含めて、すべてが皆さんの成長の材料になります。

ぜひお家の人と一緒に通知表を見て、これまでの頑張りを一緒になって認め合って喜び、10月からの新しい目標を宣言し、アドバイスをもらってください。



福田小学校の目標は、「心を満たし、『夢や願い』を叶える学校」で、合言葉は「見つめよう 認めよう<自分も 相手も>」です。皆さんが、通知表「そだち」を上手に活用して、さらに夢や願いに向かって前進していく自分になってくれることを心から願っています。

これで、校長先生の話が終わります。



今晚の通知表についての家族での語らいが、明日からの子どもたちの生活や学習への前向きな姿につながることを期待しています。